

当社グループにおける吹付けアスベスト対策の取り組みについて

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、2005年度以降、グループを挙げて「吹付けアスベストに関する対策」に取り組んでまいりましたが、吹き付けアスベスト使用箇所の特定および撤去作業の完了の目途が立ちましたので、ここにお知らせいたします。当社は、アスベストに関する対応として、今後ともアスベスト関係法令を遵守するとともに、監督官庁の指導および業界団体等の方針に基づき適切に対応してまいります。

記

1. これまでの経緯

当社は、2005年度より、グループ18社(※1)を対象にしたアスベスト含有製品使用状況調査を実施し、吹付けアスベストの使用箇所について対策工事を実施してきました。また、従業員、元従業員およびその家族の健康診断については、2005年9月以降、希望される方全員に実施してきました。

※1 新日本石油、新日本石油精製、新日本石油化学、新日本石油開発、新日本石油基地、新日本石油タンカー、新日石不動産、新日石トレーディング、新日石ビジネスサービス、新日石総研、志布志石油備蓄、上五島石油備蓄、日本海石油、沖縄石油基地、NIPPOコーポレーション、新日石インフォテクノ、新日石プラスト、和歌山石油精製

2. 吹付けアスベスト使用箇所への対策完了について

当社グループにおける吹付けアスベストの使用箇所(製油所、油槽所等の当社グループ所有の物件)は、125カ所であることが判明いたしました。2005年度よりその使用箇所について、石綿障害予防規則第10条に基づく措置のほか、自主的に順次撤去工事を進めてきました。

2007年10月20日までに、125カ所のうち、122カ所の撤去工事が完了しました。その他3カ所は囲い込み対策を実施いたしました。今後自主的に撤去いたします。

2005年および2006年度撤去箇所	120カ所
2007年度撤去箇所(※2)	2カ所
囲い込み対策箇所	3カ所
合 計	125カ所

※2 2006年のアスベスト関連法令の改正により、アスベスト含有製品の定義が改正(1%超⇒0.1%超)になったため、含有率1%以下の箇所(6カ所)について再分析を実施いたしました。その結果2カ所が0.1%超と判明したため、撤去箇所に追加いたしました(2007年10月20日に撤去完了)。

3. 健康被害への対応について

(1) 健康診断の実施

従業員、元従業員およびその家族の希望者(445名)を対象とする健康診断を行った結果、現時点では中皮腫あるいはアスベストを主原因とする肺がんとの所見は認められませんでした。今後も経過を確認してまいります。なお、当社グループ事業所周辺の住民の方からの健康被害の申し出はありません。

(2) 中皮腫による死亡者

これまでに中皮腫により死亡した従業員および元従業員は3名です。

本件についてのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	電話番号
一般のお客様からのご質問	お客様相談室フリーダイヤル	0120-56-8704 受付時間 日・祝日を除く 9時00分～17時30分

以上